

標準委員会 第44回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録

1. 日 時 2019年8月5日（月） 13：30～15：50

2. 場 所 5東洋海事ビル A+B会議室

3. 出席者（敬称略）

（出席委員）萩原部会長，石川副部会長，北島，坂本，佐田，田中（健），田中（正），張，日比，松本，湊，吉田，宮坂（13名）

（代理委員）小菅 史明（伊藤忠テクノソリューションズ/石川（智）代理），竹腰 直樹（東京電力ホールディングス/増田代理）（2名）

（欠席委員）山本（1名）

（委員候補）野依 哲生（関西電力），藤井 裕（日本原子力発電），山路 哲史（早稲田大学）（3名）

（説明者）【廃止措置分科会】田中幹事，【専門部会】萩原部会長（延べ2名）

（事務局）福田，田老，谷井，牧野（4名）

4. 配付資料

ATC44-0 第44回基盤応用・廃炉技術専門部会議事次第（案）

ATC44-1 第43回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録（案）

ATC44-2 人事について

ATC44-3-1 “原子力施設の廃止措置の基本安全原則：20XX” の制定 中間報告（コメント対応版）

ATC44-3-2 “原子力施設の廃止措置の基本安全原則：20XX” コメント対応前後比較表

ATC44-3-3 “原子力施設の廃止措置の基本安全原則：20XX” 専門部会コメント集約表

ATC44-4 “実用発電用原子力施設等の廃止措置の計画20XX” 改訂中間報告版（補足資料）

ATC44-4 “実用発電用原子力施設等の廃止措置の計画20XX”（案）完本版中間報告版

ATC44-5 分科会活動状況

ATC44-6-1 日本原子力学会標準委員会倫理教育に関する資料

ATC44-6-2 2019年度標準委員会倫理教育「適時見直し」の重要性について

参考資料

ATC44-参考1 基盤応用・廃炉技術専門部会委員名簿（案）

ATC44-参考2 基盤応用・廃炉技術専門部会出席実績

5. 議事内容

事務局から開始時点で委員16名中，15名の出席があり，委員会成立に必要な委員数（11名以上）を満足している旨，報告があった。

（1）前回議事録の確認（ATC44-1）

前回議事録（案）について配付された内容で承認された。

（2）人事について（ATC44-2）

事務局からATC44-2に基づき，専門部会及び分科会の人事について下記の提案があり，専

門部会委員の退任等が確認され、審議の結果、専門部会委員の選任等が決議された。

なお、当専門部会の堺幹事の退任に伴い、部会長から湊委員が幹事に指名された。

【専門部会】

1) 委員退任 (確認)

伊藤 博英	日本原子力発電	2019.06.28
平野 伸朗	関西電力	2019.06.28
堺 公明	東海大学	2019.08.04

2) 委員選任 (決議)

藤井 裕	日本原子力発電
野依 哲生	関西電力
山路 哲史	早稲田大学

3) 幹事退任 (確認)

堺 公明	東海大学	2019.08.04
------	------	------------

【分科会】

○廃止措置分科会

1) 委員退任 (確認)

三橋 偉司	東京都市大学	2019.07.24
-------	--------	------------

2) 委員選任 (承認決議)

佐藤 勇	東京都市大学
------	--------

○シミュレーションの信頼性分科会

1) 委員退任 (確認)

内藤 俣孝	ナイス	2019.05.27
藤原 大資	テプコシステムズ	2019.07.12

2) 委員選任 (承認決議)

尾崎 哲浩	テプコシステムズ
-------	----------

3) 委員所属変更 (確認)

中田 耕太郎	東芝⇒東芝エネルギーシステムズ	2018.10.1
--------	-----------------	-----------

4) 常時参加者登録解除 (確認)

尾崎 哲浩	テプコシステムズ	2019.07.12
-------	----------	------------

○放出源の有効高さ評価分科会

1) 委員退任 (確認)

伊藤 博英	日本原子力発電	2019.06.28
-------	---------	------------

2) 委員選任 (承認決議)

藤井 裕	日本原子力発電
------	---------

3) 幹事退任 (確認)

伊藤 博英	日本原子力発電	2019.06.28
-------	---------	------------

4) 幹事指名 (確認)

藤井 裕	日本原子力発電
------	---------

5) 代表者退任 (確認)

伊藤 博英	日本原子力発電	2019.06.28
-------	---------	------------

6) 代表者選任決議 (確認)

藤井 裕	日本原子力発電
------	---------

(3) 報告・審議

1) 【報告・審議】 (ATC44-3-1, ATC44-3-2, ATC44-3-3)

“原子力施設の廃止措置の基本安全原則：20XX” の制定 中間報告（前回中間報告時コメント対応報告）

（担当：廃止措置分科会 田中幹事）

廃止措置分科会 田中幹事からATC44-3-1, ATC44-3-2, ATC44-3-3に基づき、前回中間報告時コメントを反映した“原子力施設の廃止措置の基本安全原則”の制定について説明があり、審議の結果、今回頂いたコメントを反映した内容で、次回標準員会に報告することが決議された。

主な質疑は以下。

Q：IAEAの定義では、廃止措置の計画は、initial planとfinal planがある。この標準では、単に計画としか書かれていないが、両者を明確に定義しておく必要があるのではないか。

A：IAEAの定義が、そのまま国内の廃止措置の制度に対応する訳ではないが、関連するものはある。例えば、initialは「廃止措置実施方針」が類似するものである。IAEAの定義とは厳密に一对一の対応をする訳ではない。この標準で定める廃止措置の計画の在り方について明確になるように記載を追加する。→用語の定義を追加すると共に、解説に記載する。

C：廃止措置の計画に関連することではあるが、廃止措置がどのように進んでいくものかが分かるような記載を追加するべきである。

A：廃止措置は、計画、実施及び終了の段階で構成されるという考え方で本標準を作成している。これらの段階が分かるように記載を追加する。

2) 【報告・審議】 (ATC44-4)

“実用発電用原子炉施設の廃止措置の計画：20XX” の改訂 中間報告

（担当：廃止措置分科会 田中幹事）

廃止措置分科会 田中幹事からATC44-4に基づき、“実用発電用原子炉施設の廃止措置の計画：20XX”の改訂について説明があり、審議の結果、今回頂いたコメントを反映した修正版を専門部会三役に説明し承認を得ることを条件として、次回標準員会に報告することが決議された。

主な質疑は以下。

C：安全原則で定義する計画との整合を図ること。特に、IAEAとの関連を分かるようにすること。

A：安全原則の方で計画の定義を明確にしますので、その修正に合わせた修正を行う。

C：計画標準は、計画立案の手順を本文及び解説で手順に沿った記載とすること。

A：計画立案の手順が明確となるように修正を行う。

3) 【報告】

分科会の活動状況について (ATC44-5)

各分科会の代表者からATC44-5に基づき、分科会の活動状況について報告があった。

（担当：放射線遮蔽分科会：坂本主査，廃止措置分科会：田中幹事，シミュレーションの信頼性分科会：田中幹事，放出源の有効高さ評価分科会：藤井幹事）

“放射線遮蔽分科会”

主な質疑は以下。

C：γ線ビルドアップ係数標準の英語版ドラフトができた時点には当部会で審議してもらうように。

Q：標準の増刷に関する基準はどうなっているのか。

A：在庫数は適時確認しており、少なくなれば増刷すが、増刷にあつては、改定の状況を分科会等に確認して、増刷するのが良いのか、改定が近くであれば改定を待つかを判断している。（事務局）

“廃止措置分科会”

・分科会の活動状況を説明した。今回中間報告した2件の標準についての審議等の経緯を説明した。質疑、コメント等は特になかった。

“シミュレーションの信頼性分科会”

・分科会の活動状況を説明した。特段、質疑、コメント等はなかった。

“放出源の有効高さ評価分科会”

主な質疑は以下。

Q：今後の活動予定は。

A：今年度下期より活動を再開予定です。

4) 【報告】 (ATC44-6-1, ATC44-6-2)

2019年度倫理教育について

部会長から、ATC44-6-1, ATC44-6-2に基づき、2019年度倫理教育が実施された。各分会、作業会においても、各幹事から委員に対して教育を実施するよう依頼があった。

6. 今後の予定

今回は、11月1日（金）13時30分から予定。

以 上